

# CSV 通信

令和 8年 1月 28日発行  
東京都立中野特別支援学校+  
しいの木分教室  
校長 和田 慎也  
文責:今本 和宏 堀切 美和

## ★発達障害教育ワークショップについて★

都立版エリアネットワークの発足時から開催してきたワークショップも今年で4回目を迎えました。令和4年度は「通級による指導」、令和5・6年度は「ユニバーサルデザイン」について学びました。今年度は高校訪問同行や地区情報交換会において「合理的配慮の提供」についての報告や相談が目立ちました。入学者選抜における配慮申請や学校生活における合理的配慮の申請は年々増加している傾向があります。そのような状況から、今年度のワークショップでは「学校における合理的配慮の提供」をテーマとし、講演及び仮想事例の検討を通して学ぶことにしました。独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センター総括研究員 井上秀和先生に「学校における合理的配慮の提供と校内支援体制の充実」をテーマに合理的配慮の基本的な考え方や法的背景をわかりやすくご講演いただきました。高等学校に関わる動向や生徒指導提要、合理的配慮の提供プロセスの具体的事例を通して、生徒の思いや願いを踏まえた支援や組織的な対応の大切さを学ぶことができました。

参加者の皆さんには、まず事前課題として以下の動画を視聴していただきました。

[合理的配慮の提供と特別支援教育に関する校内支援体制の充実について](#) 独立行政法人教職員支援機構  
(講師:文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官 加藤典子)

また、読み書きに困難がある生徒についての仮想事例について、自校でどのような配慮ができるかを校内のどなたか(管理職、教務主任等)と相談して検討するというワークシートにも取り組んでいただきました。

当日は井上秀和先生の講演を動画で視聴した後、グループに分かれてワークに取り組みました。まずは事前課題をグループのメンバーでシェアし、提供できる内容や、代替案などについて話し合いました。合理的配慮は学校としての対応が必要です。

そのためには校内体制の充実が不可欠なため、続いてのワークでは「理想の校内体制」というテーマで、話し合いを行いました。校内委員会のメンバーや開催方法、日常の情報共有の仕方など、すでに取り組んでいることや他校の事例を通して改善できそうなことなど、前向きな意見が飛び交っていたのが印象的でした。



今回のワークショップで行ったアイスブレイクの一部を紹介します。身体を動かしたり、自分に向き合ったりすることで、心も体もリフレッシュできます。

- 1 背伸び：背伸びはストレッチの基本！
- 2 筋弛緩法：筋肉の緊張をほぐし、心をリラックスさせる効果あり！
- 3 耳のストレッチ：片頭痛対策にも効果あり！
- 4 深呼吸：ストレス解消、リラックス効果、集中力アップ！

授業の中で、生徒たちに集中してほしい、気持ちを切り替えてほしい場面に取り入れることをおススメしました。



鼻から息を吸って（4秒）  
一度息を止めて、口から吐く（6秒）  
お腹が膨らんだり、へこんだりしていることにも意識を向けよう！

## 参考情報やリンクの紹介

～当日の講義で紹介されたサイトや、合理的配慮に関する資料をご紹介します。

- [リーフレット「令和6年4月1日から合理的配慮の提供が義務化されました」 - 内閣府](#)
- [障害者差別解消に関する普及啓発|障害者差別解消と権利擁護|東京都福祉局](#)
- [障害者差別解消法ハンドブック（都立学校版）|障害を理由とする差別の解消の推進|東京都教育委員会（平成28年3月）](#)
- [「東京都発達障害教育推進計画」の策定について|発達障害教育に関する計画・報告等|東京都教育委員会（平成28年3月）](#)
- [合理的配慮ハンドブック（平成30年度発行） | JASSO（平成30年3月）](#)
- [障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～:文部科学省（令和3年6月）](#)
- [生徒指導提要（改訂版）:文部科学省（令和4年12月）](#)
- [障害のある受検者に対する配慮|東京都（令和7年1月）](#)
- [令和8年度 受験上の配慮案内（PDF形式） | 独立行政法人 大学入試センター](#)
- [実践事例データベース | インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクルDB）](#)
- [障害学生支援に関する情報提供 | JASSO](#)